



## 見守る目に、支えられて

副校長 岩元 カオリ

2月がやってきます。2日が節分、3日が立春と暦の上では春になりますが、まだ寒さが厳しい日が続いています。感染症の脅威と戦い続けた一年間を振り返る特集が数々報道され、今更ながらこの一年の努力の日々が思い起こされます。しかし、校庭の木々には、冬芽がしっかりとふくらみ、春への準備が進んでいることがうかがえます。保護者の皆様・地域の皆様には、日々学校の教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。

多くの活動の実施を見合わせたり、内容を変更したりしなければならなかった一年となりました。羽沢小学校の良き伝統である校内の「見守り隊」の活動についても、校舎内での密を避け、感染を防止するために実施することはできませんでした。そんな中、毎月続けていただいたことがあります。その一つが防犯パトロールです。地域の皆様が月に一回、子どもたちの下校時刻に合わせて集まり下校指導に当たってくださいました。もう一つが地区ごとに行われるPTAの皆様のパトロールです。今年度も変わらずに行っていただきました。保護者地域の皆様に温かい声をかけてもらって、羽沢の子どもたちがのびのびと育ってきたことを実感し、地域の力の大きさを感じました。



毎日欠かさず続けていただいたこともあります。その一つは羽沢団地前・交差点での交通安全指導（立哨）です。月曜・火曜はPTAの保護者様が行い、水・木・金の三日間は上三枚町交通部長の小川昭二様がサンハイツ羽沢交通部長様とともに交差点に立ち、子ども達の登校の安全を守ってくださいました。日々、こうした皆様の大きな力によって学校は支えられています。心より感謝申し上げます。

緊急事態宣言のもと、もうしばらく対策に追われる日々は続くようです。しかし歴史上、人々が感染症に屈したことは一度もありません。今、物理的に肩を組み、手を取り合い、顔を合わせて話すことはできなくても、子どもたちと学校を見守る多くの目に気付き、できることを一つ一つ積み重ねていくことで、未来を明るく拓いていくことができると信じています。

### ありがとうございます!!

神奈川東ロータリークラブの皆様より、手指消毒及びディスペンサー・ゴーグル付きフェイスシールドなどを寄贈していただきました。感染対策をゆるめることなく教育活動を続けていきたいと思っております。

### 持続可能な学校のあり方を探る公募型モデル事業

子どもたちのより良い学びと教職員の時間をうみ出す工夫を探る取組として、令和3年度の「持続可能な学校のあり方を探る公募型モデル事業」に応募しました。モジュールを活用した柔軟な時間割を作り、学習や生活の充実が図れるのではないかと期待しています。